



学校だより

伸びゆく子

平成31年2月28日
横浜市立中沢小学校
3月 号

地域・保護者の皆さまとともに

校長 小倉 克彦

今年も学校の紅梅が綺麗に咲き、いよいよ春が近づいてきました。中沢小学校では、卒業する6年生をお祝いする取組の準備が始まり年度末の雰囲気が高まっています。この時期になりますと、子どもたちの様子に変化がみられます。朝会での話の聞き方から真剣さが伝わるようになったり、教室で自信をもって学習に臨むようになったりするなど、明らかな変化です。「自分たちのお手本だった6年生、自分たちをあたたく見守ってくれた6年生が卒業してしまう」「いよいよ進級する」ことを肌で感じることで在校生の意識を高めるのかもしれませんが。子どもたちのそんな様子を見かけるにつけて、「いよいよ本年度のまとめの時期だなあ」と実感しているところです。

さて、2月半ばに地域の方から校長室にお手紙が届きました。何かご心配をおかけするようなことでもあったかなと背筋を正して読ませていただきましたが、お手紙には、「公園で転倒し、起き上がれずにいた自分に気づいた中沢小学校の6年生4人が、一目散にかけよって声をかけてくれたこと、子どもにとっては大変だったろうに4人で力を合わせて身体を起こしてくれたこと、誰にも気づかれずにいたらずっと転倒したままであったこと」など、子どもたちへの感謝の気持ちが切々と書かれていました。私自身の母親のことを考えても、倒れているお年寄りを起こすのはきっと大変だったろうと思います。倒れているお年寄りをみて駆け寄る姿、4人で何とかしようとして協力する姿、そのことを学校に知らせようとしてくださった地域の方のお気持ちに感動し、心が震える思いでお手紙を読みました。

「この地域で育った子どもたちが学校でも、ご家庭でもない地域の日常生活でそんな行動をしてくれた。子どもたちは、仲間、保護者や地域の皆様、教職員などたくさんの人とのかかわりの中で成長しているのだな。」と改めて感じました。みなさんの子どもたちを見守るあたたくいご支援、ご協力に感謝いたします。ありがとうございます。

学校評価の保護者アンケートには、地域で過ごす子どもたちの挨拶やマナーなどについてご心配をいただく内容もありました。これも現実だと思えます。子どもたちが健やかに成長するために、ご家庭、地域、学校が今後ますます、子どもたちの成長にかかわる課題を共有し、協力していくことが大切だと思っています。

本年度の学校生活も残すところ3週間あまりになりました。「3月は1年間で一番成長する1カ月」職員一同1日1日を大切に最後の1日まで子どもたちの成長を見守っていきます。今月もよろしくお願いたします。